

首都圏の県人経営者

仕事の喜び、苦勞——熱く語る

現場の声 将来に役立てて

首都圏で活躍する本県出身の若手経営者らの会・A O s u k i (須藤公貴会長) が26日夜、修学旅行中の青森西中学校(横山猛校長) 3年生が宿泊する東京・有明のホテルで、さまざまな職業人に仕事の喜びや苦勞を語ってもらった「フューチャーズゼミ」を開いた。講師を務めたのは本県出身者13人で、うち2人が同中の卒業生。生徒約150人が、現場感覚あふれるエピソードに耳を傾けた。

(高木圭一)



「飲食店経営には何が大事か」——生徒たちと語り合っ居酒屋店主

東京 修学旅行の青森西中生に

「仕事で何が大事かわかる? スピードだよ」。美容室などを経営する二戸明美さん(八戸市出身)が、自分の髪をほどぎ、わずか十数秒で再び結び上げて見せると、生徒たちは目を丸くして歓声を上げた。

別のコーナーでは居酒屋を営む西村直剛さん(同市出身)が店の経費について「材料の仕入れだけじゃない。家賃、広告費、割り箸など消耗品も必要。ごみを捨てるにも負担金が掛かる」と解説。生徒たちは真剣にメモを取っていた。

講師の職業はブライダルサービス、イタリア料理店、